

令和4年2月25日発行
 発行/宇佐市議会
 直通:0978-32-2328
 Fax:0978-32-1437

宇佐市議会



《 おとりこし〜こころに灯す明かりの広場〜 》

毎年12月に、浄土真宗本願寺派四日市別院（通称・西別院）と真宗大谷派四日市別院（通称・東別院）で、宗祖親鸞聖人の御祥月命日を機縁として報恩講が勤まります。京都の本山で行われる報恩講と重ならないように、日程を繰り上げて行われることから「御取り越し」とも呼ばれています。かつては宇佐神宮の夏の御神幸祭（夏越祭り）と並び多くの参拝客で賑わった御取り越しですが、近年は露店の出店も少なくなってきました。

今年度は四日市商店街振興組合が主催し、長洲地区振興会、宇佐市料飲店組合、JYOKKAS∞（宇佐七蔵）との共催で四日市門前広場及び周辺で各種イベントが行われ、15回を迎えた灯明のオブジェと共に四日市で初となる本格的なエール花火も打ち上げられ、コロナ収束と景気回復を願う多くの市民で賑わいました。
 （川谷光紹）


12月定例会

○一般会計補正予算・特別会計補正予算ほかを可決

スマホも対応!

議会ホームページ

目次	12月定例会の概要・本会議の審議結果……………P.2~3
	12月定例会の一般質問……………P.4~11
	委員会現地調査報告・3月定例会予定ほか……………P.11
	新年のごあいさつ……………P.12

宇佐市議会 検索 



12月定例会の概要

令和3年12月定例会を11月30日から12月22日までの23日間の会期で開催しました。上程した議案25件を原案のとおり可決・承認・同意し、請願2件を継続審査としました。また、継続審査となっていました決算認定案4件を認定とし、請願1件を不採択としました。

12月定例会 新型コロナウイルス感染症対策補正予算の主な内容

事業名	補正額 (千円)	事業概要
子育て世帯への臨時特別給付金事業	818,000	感染症の長期化により、経済的な影響を受けている子育て世帯への生活支援として「子育て世帯への臨時特別給付金」を支給する。 【給付金額】対象となる児童1人当たり10万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	1,064,700	感染症の長期化により、様々な困難に直面している方々への生活支援として、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」を支給する。 【給付金額】対象となる1世帯当たり10万円
地域消費喚起プレミアム商品券支援事業	161,100	感染症の影響を受けた地域経済の活性化を図るとともに、市内消費の喚起による地元事業者の支援のため、商工団体が発行するプレミアム商品券に対して助成を行う。 【商品券】販売額1万円（額面1,000円×13枚/セット）プレミアム率30%
主食用水稲生産継続支援対策事業	134,200	感染拡大防止策による外出控え等の影響により、令和3年産米の価格が大幅に下落し、経営の維持が厳しい状況にある主食用水稲の生産農家を支援するため、次作に向けた生産費の一部を助成する。 【助成金額】対象となる農業者に対し4,000円/10a ※1件につき、自家消費分として10a分を支給金額より控除

本会議の審議結果

○議案

※印は全会一致でない議決

番号	件名	付託委員会	結果
議第100号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第11号))	文教福祉	原案承認
議第101号	令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第13号)	各常任委員会	原案可決※
議第102号	令和3年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	〃
議第103号	令和3年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議第104号	令和3年度宇佐市水道事業会計補正予算(第3号)	産業建設	〃
議第105号	令和3年度宇佐市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃
議第106号	宇佐市空き缶等ポイ捨て防止条例の制定について	総務	〃
議第107号	宇佐市税条例及び宇佐市都市計画税条例の一部改正について	〃	〃
議第108号	宇佐市手数料条例の一部改正について	産業建設	〃
議第109号	宇佐市国民健康保険条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第110号	宇佐市工場等設置促進条例の一部改正について	産業建設	〃
議第111号	宇佐市生産物直売所条例の一部改正について	〃	〃

※印は全会一致でない議決

議第 112 号	宇佐市地域情報通信基盤工事負担金条例の一部改正について	総務	原案可決
議第 113 号	宇佐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第 114 号	指定管理者の指定について（宇佐文化会館・ウサノピア）	産業建設	〃
議第 115 号	指定管理者の指定について（安心院老人デイ・サービスセンター）	文教福祉	〃
議第 116 号	指定管理者の指定について（院内老人デイ・サービスセンター）	〃	〃
議第 117 号	指定管理者の指定について（宇佐市双葉の里）	産業建設	〃
議第 118 号	指定管理者の指定について（宇佐市立特別養護老人ホーム妙見荘）	文教福祉	〃
議第 119 号	消防指令業務に係る事務の委託について	総務	〃 ※
議第 120 号	市道路線の認定及び変更について	産業建設	〃
議第 121 号	字の区域の変更について	〃	〃
議第 122 号	令和 3 年度宇佐市一般会計補正予算（第 1 2 号）	文教福祉	〃
議第 123 号	令和 3 年度宇佐市一般会計補正予算（第 1 4 号）	文教福祉 産業建設	〃
議第 124 号	宇佐市固定資産評価審査委員会委員の選任について（小野文博氏 安心院町釜ノ口）	付託省略	原案同意

○閉会中の継続審査となっていた議案

※印は全会一致でない議決

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第 93 号	令和 2 年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	原案認定 ※
議第 94 号	令和 2 年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃 ※
議第 95 号	令和 2 年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃 ※
議第 96 号	令和 2 年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃 ※

○継続審査となっていた請願

※印は全会一致でない議決

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第 2 号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出の請願	総務	不採択 ※

○請願

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第 3 号	宇佐市議会の議員定数削減に関する請願	議員定数	継続審査
請願第 4 号	「大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書」の提出等を求める請願	産業建設	〃

※全会一致でなかった採決結果

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道 和	若山雅 敏	中本 毅	川谷光 紹	和気伸 哉	多田羅 純一	河野陸 夫	衛藤義 弘	井本裕 明	辛島光 司	今石靖 代	新開洋 一	林 寛	大隈尚 人	高橋宜 宏	中村明 美	永松 郁	浜永義 機	衛藤博 幸
議第 93 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 94 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 95 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 96 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 101 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 119 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 2 号	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×

除斥(じよせき)：監査委員のため 原案に賛成：○ 原案に反対：×

米価下落対策で農業支援を



今石靖代 (日本共産党)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しています。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 米価下落への支援策を。
 (1) 作付7割を占めるヒノヒカリの概算金が、一等米で1俵1万800円で農家から悲鳴が上っている。価格補償など基幹産業の農業を守る支援策を。
答 何らかの支援を行う方向で検討している。
問② 収入保険制度への保険料の助成や制度の周知を。
答 保険料等の負担軽減について検討したい。
問③ ごみの個別回収を豊後高田市は来年度から実施する。高齢化率が37%を超える中、見守りも兼ねた支援が必要だが。
答 適切な支援の在り方を考えていきたい。
問④ 合併浄化槽の普及。
 (1) 昨年度から新築への補助が廃止されている。中津市や豊後高田市が継続する中、周辺部へ

の新築への何らかの支援を。
答 単独浄化槽や汲み取り便槽から合併浄化槽への転換の方が急務と考えている。
問⑤ 合併浄化槽への転換に伴う撤去費用や宅内配管費用なども助成し、切り替えの支援を。
答 水処理事業組合より要望が寄せられており、関係機関と事業促進への協議をしている。
問⑥ 新型コロナウイルスへの対策。
 (1) 予算枠で打ち切るやり方は見直しを。また営業を守るための新たな支援策を。
答 予算の範囲内で一定程度の効果は上がっていると考える。また、プレミアム商品券事業を行う方向で検討している。
問⑦ 3学期も給食費を無料にして、子育て世帯の支援を。
答 現時点では考えていない。
問⑧ 漁業者等への燃油高騰分の助成を延長すべきだが。
答 燃油高騰対策はセーフティネット構築事業を活用できる。
問⑨ 国保事業について、18歳までの子どもに均等割の軽減を。また、窓口で10割払う資格証の発行を中止し、命と健康を守るべきだが。
答 拡充は考えていない。必要な場合、短期証を即時発行する。

米価下落！農家救済を早急に



河野睦夫 (政友会)

問① 米価下落の対策について。
 (1) 令和3年産米の米価が下落し、コメ農家は大変厳しい状況である。本市が県下の先陣を切って早急に検討すべきでは。
答 本市の基幹産業である農業経営に厳しい影響を与えているため、早急に対応を検討する。
問② 昨年の質問でも取り上げた収入保険の保険料の負担軽減について、積極的に取り組むべきでないか。
答 より多くの農業者が加入し、持続的な経営の安定と農業の維持につながるよう負担軽減について検討中である。
問③ 道路の整備計画について。
 (1) 岳切溪谷へのアクセス道である県道27号線(斎藤〜岳切)の未整備区間(景平・月俣)の早期着工を求めているが。
答 中心部から岳切溪谷へと向

かう最短ルートとして重要性を認識しており、早期整備に向け要望していく。
問④ 国道500号の未改良区間(院内町日岳)の整備計画は。
答 国道500号の院内町日岳から耶馬溪間については、地形条件や膨大な事業費が見込まれることから早期の事業化には多くの課題を抱えている。国及び地元国会議員に対し引き続き本路線の重要性、必要性を要望していく。
問⑤ 移住・定住対策について。
 (1) 本市の移住・定住の現状は。
答 令和2年度の移住者は47世帯104人、令和3年度は上半期で36世帯79人となっている。
問⑥ 「ふるさと回帰センター」の役割は。
答 移住促進を目的に設置し、空き家バンクの運営、移住者交流会や移住に向けた、さまざまなサポートを行っている。その他の質問
 ・認知症対策について
 ・介護保険の苦情・相談の対応について
 ・社会福祉協議会の事業委託と事務所移転について

市独自の米の価格補償を！



大隈尚人（市民れんごう）

- 問① 高齢者対策について。
- (1) 実際に自分で買い物を楽しめ、人とふれあうことができる移動販売車の導入の考えは。
- 答 他市においては、各種団体と連携しながら行っている事例もあるので、引き続き調査研究していく。
- (2) 郵便ポストの増設は。
- 答 四日市郵便局へ問い合わせしてほしい。
- 問② 緊急避難場所のコロナ対策は。
- (1) 緊急避難場所に行きたいが、不安で行けないと聞く。対策は。
- 答 受付時に避難者の検温を行うとともに、2 m以上の間隔を保つように努めている。
- (2) トイレ等の整備は。
- 答 和式トイレを洋式トイレとして使用できるワンタッチ簡易トイレを整備し、高齢者への配

慮に努めている。トイレ使用後のドアノブなどの接触箇所の雑菌消毒処置を徹底している。

問③ 地籍調査の実施状況について。

答 経済対策などの令和4年度事業を前倒しすることで予算確保に努める。

問④ 米の価格補償について、米の価格が下落した場合、市独自の価格補償ができないか。

答 今年度下落については農業経営に非常に厳しい影響を与えていると考える。市として農業者の意欲を喚起し、何らかの支援ができないか検討していく。

問⑤ 地域おこし協力隊の定住者は何人か。

答 現時点で退任した人は21人で16人が市内に定住している。

問⑥ 国有林や県有林の伐採後の植林について。

答 市森林整備計画に基づき、早期の植栽に向けて森林組合と連携していく。

問⑦ 農地の宅地転用について、同一区域での認定が異なるが、その理由は。

答 整備された同一区画内でも、集落の住宅立地の状況により許可の基準が異なることがある。適正な実務に努めていく。

交通弱者・支援学級の支援を



衛藤義弘（公明党）

- 問① 日常生活の移動に困難な方（交通弱者）の対策について。
- (1) 前回質問した答弁で、選択肢と地域要望の把握はどうなったか。また、提案した距離・年齢登録制・初期料金・予算の問題、試行運転の時期の取り組みは。
- 答 早ければ来年2月から実証実験を始める。利用はバス停から500 m以上離れた人を対象とし、金額は1回数百円を想定している。
- (2) 管内の交通事故の現状は。
- 答 昨年128件、本年10月まで95件で、高齢者の割合は42%から47%と増加している。
- 問② 自治体におけるRPA導入は。システムへの入力間違いや確認作業の短縮など品質向上をすべきでは。
- 答 事務の効率化、住民サービス

の向上を掲げ、今年度県との共同調達方式による導入で市県民税の徴収事務の実証実験に取り組んだ。他の業務での運用効果についても検証する。

問③ 安心院・院内の中学校には、心身に障がいのある子どもが通う特別支援学級がない。家庭、親にとって深刻だ。県へ設置に向け強く要望すべきでは。

答 県は各校からの申請内容を精査し新年度の配置校を決定する。生徒の状況を伝え、保護者の願いに沿った配置となるよう強く要望する。

問④ 各自自治体の財政状況が厳しくなる中、PRE戦略（公的不動産の見直し）で賃貸運用・売却など有効活用・最適化を図るべきではないか。

答 国土交通省において、PRE戦略の手引書がまとめられ、本市では本年2件を売却、7件の公募を行っている。

問⑤ コロナ禍での影響を受けた事業者や生活者のためのマイナポイント制度でカード普及が進むが、担当課は市民の転入・転出時期と重なる。人員増員の検討が必要では。

答 申請補助の体制の強化、出張申請を行う。

通学路・環状交差点の安全確保を



赤野道和（日本共産党）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 7月臨時会の市長報告では、37カ所の通学路改善が必要であるということであったが、その後の安全確保の取り組みは、どこまで進んでいるのか。

答 道路管理者の所管となる整備が16カ所あり、うち12カ所が完了し残りの4カ所は計画中。県公安委員会の所管となる施設が20カ所あり、うち8カ所が2月までに完了し残り12カ所は計画的に実施していく。残る1カ所は、個人宅地所有者へ改善の要望中。

問② 安心院のラウンドアバウト（環状交差点）の本格運用が始まり、8カ月以上が経過したこの間、小さな接触事故や事故寸前の場面が時折見られる。担当課や宇佐土木事務所・公安委員会と協議し、ルール徹底の標識を出すなどの安全確保対策が

必要だと思われるが。

答 現時点ではラウンドアバウトの走行方法の定着はまだ十分であると考えているので、今後、県宇佐土木事務所や公安委員会と連携しながら安全確保対策を図っていく。

問③ 宇佐市の鳥獣被害額を減らすための捕獲対策の一つとして、有害鳥獣捕獲報奨金の拡充を図るべきでは。

答 捕獲報奨金については、県内他市と比較しても遜色のないことから、拡充は考えていない。

問④ 総務省は11月12日、地方公共団体が行う原油価格高騰対策に対し、特別交付税（措置率2分の1）を講じることを発表した。こうした措置も活用して、原油価格の影響を受けている生活者や事業者を支援するために、次の4つの補助事業を具体化できないものか。①生活困窮者に対する灯油購入費の助成②社会福祉施設に対する暖房費高騰分の助成③公衆浴場に対する燃料費高騰分の助成④農林漁業者等に対する燃油高騰分の助成。

答 現時点において詳細な内容は示されていない。国の動向を踏まえつつ、調査研究していきたい。

宇佐市の本物を全国に！



河野健治朗（政友会）

問① 本市に訪れる観光客の大半が宇佐神宮に参拝していると考えると、どのような経由地を効果的にインフォメーションするかが重要。宿泊施設が少ない中、通過観光客に対し具体的な滞留プランはあるか。

答 観光協会と連携し、宇佐神宮を中心とした観光モデルコースを提供するとともに、体験型商品の販売を行い、宇佐神宮からの広域滞在型観光に取り組んでいる。今後は、ビッグデータの活用も視野に入れ、現在の旅行トレンドにあった観光誘客に努める。

問② NHK朝ドラ「南一平」誘致推進へ向けた取り組みについて、市民全体で誘致ムードを興していく必要があると思うが、市として今後どのような取り組みを計画しているか。

答 市主催事業として、市内の小学校3校を対象に広瀬井路の体験授業を行うなど、誘致活動の全面的なサポートに努めている。しかし、まだまだ活動に対する認知度は低く、機運の醸成が必要であると思われるので、今後も協議会としっかり連携し、二人三脚で誘致活動に取り組むことで効果的な事業展開を図っていく。

問③ 旧はちまんの郷グラウンドゴルフ場の現状について、今後どのような運営を行っていくのか。

答 競技団体の要望により、第1コート16ホールと第2コート8ホールを公認コースとして申請する予定。今後は、公認コースにふさわしい施設の管理運営に努め、競技団体との連携を密にしながら、市民の健康増進はもとより県内外の愛好者が集える施設となるよう努める。

問④ 地元食文化の継承と郷土愛の醸成を。

答 市の食育のページで地元食材や郷土料理の紹介を行っている。今後も食育関係者と連携をとりながら、宇佐の食の魅力を伝える取り組みを行っていく。

市民や現場の困りに対応できる市政を



若山雅敏（市民れんごう）

問① 農業関係について。

(1) コロナ禍での米価下落に対し農業者の支援や今後の対策は。

答 今年度の米価下落に対し支援の検討をしている。また、収入保険加入への助成も検討中。

(2) 麦作等も価格の低迷や経費の高騰が続いており、市の支援や対策が必要ではないか。

答 麦作付けは交付金等も含め農家収入の大きな柱となっており、今後も麦作による採算性が担保されるよう農業の経営安定を図っていく。

問② ヤングケアラーの実態把握や支援等の取り組み体制の充実を図られているのか。

答 本年10月に公私立学校の小学校5年生から高等学校の3年生までの全児童生徒を対象にアンケート調査を実施した。家族のケアの過度な負担により学業

等に支障が生じたり、子どもらしい生活が送れない等の課題が発生する場合もあり、問題意識を持って対応していく。さらに、庁内の福祉や教育分野を中心に相談しやすい環境をつくり、早期発見や適切な福祉サービスにつなげる支援体制づくりに努める。

問③ 全国的に教職員配置が充足できない状況が続いている。子どもたちの教育環境を守り、教職員の働き方改革を推進するためにも対策が急務となっている。県教委の責任は大きく、改善に向け強く要請すべきでは。

答 当市でも教員免許保有者の不足等により、欠員が発生する厳しい状況となっている。今後

も、さまざまなルートを通じ人材確保に努めながら、県教委に対しても改善の取り組みを強く要請していく。

問④ 市民サービス向上の観点も含め、市職員の人員配置は十分に確保できているか。

答 制度改正や社会情勢を基に市の施策に対応できる体制強化や職種などを考慮し計画的に採用している。今後も、市民や職員等の現場の声にこたえる必要人員の確保に努める。

住みよいまちづくりについて



吉田泰秀（求道会）

問① 漁業関係について。

(1) 前回、漁業関係者に燃料費の補助金を交付していただいたが、未だに魚価が安定せず燃料が高騰しているため、以前に増して厳しい状況にある。今後

燃料費の支援などできないか。

答 水産庁の「漁業経営セーフティネット構築事業」があるので、活用していただきたいと考えている。

(2) 長洲の魚を売り込むために、地元の魚の旬を調べて多くの人にアピールできないか。

答 今後、漁業者、漁協や庁内関係部署と連携しながら、広報や市ホームページでの周知などについて協議を行っていく。
(3) 宇佐市に訪れる観光客に向けて、長洲の海産物を食べてもらえよう飲食店と連携し売り込むことはできないか。

答 今後、フェア等の開催について各関係機関と協議していく。

問② 長洲小学校の近くに戦没者慰霊碑の築年数が経過しており危険な状態にある。遺族会の方々も高齢化のため今後の維持管理が難しいので、安全面を考慮して整備ができないか。

答 戦没者慰霊や住民の安全の観点から、関係団体と協議していく。

問③ 宇佐市に多くの立て看板があるが、風化による危険な立て看板も見られるので調査をして補修などできないか。

答 設置担当課による状況把握を行い、補修や撤去など適切な措置に努めていく。

問④ 院内の両合棚田を観光の目玉として活用できないか。

答 世界かんがい施設遺産の登録を受け、世界農業遺産のシンボルスポットである両合棚田とともに情報発信を行い、観光振興につなげていきたい。

問⑤ 宇佐市の屋外スポーツにおける施設で熱中症対策などができているか。

答 熱中症対策に配慮していく。
※その他の質問
・ 消防に関して
・ 長洲のカラス対策について

安心できる街づくり



多田 羅純一(市民れんごう)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 新型コロナウイルス感染症について。
 (1) 第6波感染拡大防止に向けた今後の取り組みはどのように考えているか。
 答 基本的な感染防止対策の徹底と3回目の接種を希望者ができるような準備を進めるとともに、医療提供体制の確保を行う。
 (2) 年末年始、期間限定で抗原検査センターの再開は検討できないか。
 答 今後、感染拡大期には国や県が無症状者への無料検査の実施を検討している。
 問② ゼロカーボンシティを目指す取り組みについて、宇佐市温暖化対策実行計画書の中で、バリアフリー化を進めるとあるが、現在の進捗はどのような状況か。
 答 庁舎や市営住宅、学校等の公共建築物の建替えや改修等に

際し、バリアフリー化を進める。現在整備を進めているJR柳ヶ浦駅に多目的トイレを新設しており、今後駅前広場についてもバリアフリー化に取り組む。

問③ 特別養護老人ホームなどの食費について、本年8月に介護保険改正により食費が2倍になり、毎月2万円を超える負担となっている利用者に対し、急変緩和措置や支援制度が必要と考えるが、市の見解は。
 答 低所得者に対する介護保険料や利用料の軽減策については、国の責任において財政措置を含め、総合的かつ統一的な対策を講じ抜本的な見直しを行うことなど全国市長会を通じて国に要望している。今後とも改正の趣旨説明を丁寧に行うことで理解を求めていきたい。
 問④ 農業者支援について、昨年と比べ米価が大きく下がりが、農家の経済的支援が必要ではないかと思うが、市の見解は。
 答 農業者の生産意欲を喚起し、農業経営の安定を図るため、何らかの支援を行う方向で検討する。

養豚業者に措置命令を！



高橋 宜宏 (至誠会)

問① 業者は豚舎と工作物3基の建築確認申請を提出せず、違法性を確認して2年6カ月。その後、市の再三の報告書の提出要請に、のらりくらりの対応。「5月21日に追加の質疑事項の照会を行い、回答と他の不足書類の提出を求めている」とのことだったが、その後は。
 答 11月18日を期限として求めたが、提出されなかった。11月19日付けで建築基準法に適合していない違反建築物として指導していく旨の通知を行い、併せて是正計画書及び擁壁関係規定適合確認書を令和4年2月末までに提出するよう指示した。
 問② 通知した文書に「建築基準法第88条第1項その他関係規定に適合していないと考えられる」とあるが、具体的に。
 答 土圧等により擁壁が倒壊、

転回、基礎が優れないことが構造計算で確認できなかったこと。
 問③ 2月末までに「是正計画書」を提出するように指示したとのことだが、具体的に。
 答 違反建築物適正化マニュアルに沿って、県・弁護士・関係者等と協議しながら是正に向けて指導していく。
 問④ 期限までには是正計画書等を提出しなかったり、これまでのようにいい加減な計画書を提出したときの対処は。
 答 建築主と面談し再度指導を行う。理由もなしに計画書が出ない場合は勧告を行う。再三の呼び出しに応じなかったり、違反事項を理解せず是正意思を示さねば措置命令を行う。
 問⑤ ハッキリ申し上げるが、この業者は悪質だと思う。宇佐市は特定行政庁として違法建築物に対して除去命令などの行政的措置を講じる必要がある。県や弁護士と相談してもらいたい。
 答 違反があれば、違反者に違反の内容、法令等の趣旨、違反を是正することを理解してもらい、事故の可能性、刑事罰や民事訴訟のリスクを認識させ、是正に向けて粘り強く、厳正かつ毅然に取り組んで行きたい。

地域と暮らし、子どもたちの未来を守る



辛島光司（光りの会）

問① 和間校区の松崎放生会線は、和間小学校（避難場所）に通じる一本道。災害時の避難道として、東西へ迂回可能な道路整備が必要では。

答 今年度から3カ年で西側に迂回可能な道路整備を行う。その間、東側への道路整備を地元と協議する。

問② 柳ヶ浦高校から五百羅漢への道路改良の要望案件。現在の進捗状況は。

答 県道の工事完了後を見据えて、幅員・形状など地元や関係機関と協議を進める。

問③ 西大堀に整備予定の都市公園に通じる主要道路について、公園のイメージ向上と安全な利用促進を目的として電気料金を市が負担し、街路灯の設置を提案する。

答 関係各課と安全で安心な焼

却場・都市公園を目指して、周辺整備の在り方を検討する。

問④ 令和2年度から弱視や目の異常の早期発見のために「スポット・ビジョン・スクリーナー」という検査機器を導入している。

(1) 導入状況、活用状況は。

答 1歳半健診時は希望者、3歳半健診時は全員を調査している。要治療者の早期発見に効果が出ている。

(2) 1歳半健診時も全員の検査を求めたい。3歳半健診以降は各園に機器と視能訓練士等の専門家を派遣して、小学生前まで幾重にも発見漏れを防止してもraitたいが。

答 母子保健機関の方々と協議していきたい。

問⑤ 小中学生の図書館・児童館の利用について、周辺部に暮らす子どもたちと利用格差が生じている。土曜日に周辺部の子どもたちがコミュニティバスを利用できるように交通網を整備できないか。

答 地域公共交通計画の策定時に考えていきたい。

宇佐高田医師会病院の早期建て替えを



中本 毅（令和新政会）

問① 医師会病院の早期建て替え推進について、国・県・豊後高田市の動向も含めた現状と課題は。

答 市医師会は国及び県が策定した地域医療構想、地域医療計画に沿った形で「医師会病院建設基本計画」を策定しており、今後の人口減少や医療需要を見据え、地域にふさわしい医療機能の充実を目指し、早期に新病院と検診センターの建設を進めるとしている。市としても、関係機関と連携を図りながら重要課題として協議していきたい。

現在ようやく「建設基本計画」が策定されたばかりで、国・県・豊後高田市の動向については、市医師会から特段聞いていない。

問② ホテルの休業と同時期に同地への移転に動き出したのか、市民の理解が得られる透明性の

高い説明を求めたい。

答 平成27年の市医師会臨時総会において、はちまんの郷東側余剰地を候補地とする案が承認されている。その後、高架線の影響でヘリポートの設置が困難であることや公共下水道の許容量の問題などにより、平成28年の市医師会理事会において、柳ヶ浦駅南側への変更案が承認された。

そうした中、平成30年7月の西日本豪雨において建築したばかりの新病院が冠水する事案が発生したことから、災害拠点病院としての役割を果たすため、高台に病院を建設する方向で令和2年4月の医師会建設準備委員会において協議されている。

同委員会では、既存のヘリポート利用も視野に入れながら災害拠点病院としての役割を果たすこと、市民プールの排水を公共下水道から河川放流へ変更できたことで公共下水道の許容量の範囲内に納まることなどが確認され、直後の市医師会臨時総会で変更案が承認された。

美しかった海辺はどこに？再生の途はない？



中村明美（政友会）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 美しかった宇佐の海辺の再生への取り組みはできないか。
答 (1) 海岸線約15kmを、14年間毎日のようにボランティアでゴミ拾いをしていない人がいるが、一般に紹介されたことはない。話を聞くと拾ったゴミの量と減らないゴミの量に驚いた。市は海岸線の管轄は県ということで清掃活動に積極性が感じられないが、海は誰のものなのか。
答 海の汚染は重く受け止めている。清掃活動をしていることは知っており、今は集めたゴミ袋を定期的に回収し、清掃活動をする団体には袋の供与をしている。今年度から温暖化防止や環境保全事業に取組む団体に補助金制度を新設した。今議会には「空き缶等ポイ捨て防止条例」を提出している。

問② ネットで検索すると、県北の海岸線の景観スポットに宇佐市は一つも紹介されていない。かつての風光明媚な海岸の面影はなく堤防の管理道路も通りにくい所がある。今後の整備は。
答 市が管理する高津漁港と和間漁港を除き、14km区間は県の管轄である。平成28年度から逐次堤防補修等を実施している。新たな国の補助事業としての海浜整備は困難である。
問③ 平田井路は質問の通告後に世界かんがい施設遺産の登録通知が届いたが、この機会に環境美化と海岸清掃に繋がる親水事業として、堰の上の鷹栖地区の溜まりに、以前安心院町にあったB&G財団のカヌー場を移設できないか。宇佐の入り口にできれば観光施設にもなり得るし、地区の活性化にもなるはず。これこそ遺産登録を目標んだ成果にもつながるものではないか。
答 以前のカヌー場は、安心院B&G海洋クラブが運営していたが廃部となったため、新たにクラブを組織し、B&G財団に審査を受けなければならぬ。市単独事業で取組むには、さまざまな問題を解決しなければならぬので難しい。関係機関と相乗効果を検討する。

道の駅の計画と宇佐駅の改善は



和気伸哉（求道会）

問① 道の駅整備スケジュールでは令和4年度中に供用開始だが、計画どおりに進んでいるか。
答 当初計画より1年ほど遅れた計画となり、令和5年度末の開駅の予定となっている。
問② 物産館の建築費、管理運営事業者の選定方法と選定期間は。
答 建築費は、概算工事費約6億円を見込み、管理運営事業者の選定方法及び選定期間は、庁内検討委員会で今後協議、決定していく予定。
問③ 地域間連携について、広域的な近隣市との連携をどのように考えているのか。
答 より多くの地域資源や特産品を充実させることが重要であり、広域的な連携を図る必要があるため、今後も関係機関と協議していく。

問④ 稼ぐ道の駅として本市のビジョンは。
答 地元農産物等のPRや販売など、販路拡大による農業所得等の向上や観光客への情報発信、受け入れ体制の強化等による交流人口の増加が期待される。また、地域産業・経済・観光の活性化を図るとともに、新たな魅力を持つ地域づくりに貢献する施設を目指し、稼ぐ道の駅として取り組んでいく。
問⑤ 今後の宇佐駅の周辺整備計画を考えているのか。
答 今後、道の駅との連携等を視野に入れた駅周辺の環境整備について調査研究を進める。
問⑥ 駅構内のバリアフリー化がまだ終わっていないが、今後の計画は。
答 JR九州や九州運輸局に対して要望活動を行う際に、駅舎のバリアフリー化の推進についても継続的に要請しているが、現時点では具体的な計画立案に至っていない。
問⑦ 豊後高田市の利用者も多いが、意見は届いているか。
答 市外からの要望はないが、豊後高田市とは要望活動において、歩調を合わせた取り組みを行っている。

誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹 (求道会)

問① 地域のために。

(1) 都市計画地域でも、地域の課題を解決するために「まちづくり協議会」を設立すべきでは。

答 校区区長会をはじめ、アーバンデザイン会議などさまざまな団体に参加していただき、地域課題の解決や地域活性化に向け、市内中心部の実情に応じた地域コミュニティ組織の形成を促進していきたい。

(2) 神奈川県鎌倉市や宮崎県小林市のように、便利な暮らしと市民の安心・安全を両立するために、携帯電話等基地局の設置に関する条例を定めては。

答 総務省の「電波防護指針」の基準値及び構造物が建築基準法施行令を遵守していると認識している。周辺住民の理解も重要なので、住民に寄り添える仕組みをつくっていきたい。

(3) 11月からタクシーの相乗りサービス制度が始まった。相乗りした利用者に市が補助することで、費用対効果が低いコミュニティバス路線や、路線バスがあることでコミュニティバスを利用できない地域の方が、タクシーを利用できるようにしては。

答 利用料金が距離や人数によって大きく変わり、利用者が不安を感じるのが想定される。しかし、コミュニティバスは費用対効果で大きな課題を抱えている。地域公共交通計画策定の中で調査研究したい。

問② 子どもたちのために。

(1) 市内の小中学校でのICTの活用事例と、今後の機器更新のために基金を設立しては。

答 近隣の小学校同士でインターネットを使って互いに発表したり、中学校で大分大学の教授の授業をインターネットで受講するなど、各校で交流が進んでいる。財源については、全国都市教育長協議会を通じて国に要望していきたい。

※その他の質問

・学校の規模・配置等について
・ベビーファースト宣言とは
・幼児教育と小学校の連携は

委員会現地調査報告

12月15日、宇佐市消防本部において総務常任委員会現地調査を行いました。

119番通報を処理する消防指令業務を大分市に委託し、県下全域で共同運用を行う方針が示されたことから、消防施設全般の現状と課題を調査しました。担当者からは「広域災害時の管轄を超えた連携の迅速化や設備費用の軽減などメリットが多い」との説明がありました。委員からは「市民サービスの低下を招くことのないように」との要望や「庁舎自体の老朽化が目立つ。改修等の論議が必要」などの意見が出されました。

本調査において、改めて地域消防を支える人や施設の重要性を認識するとともに、今後も市当局と協力し防災行政の充実に取り組むことを確認しました。



編集後記



新しい年になり、早2カ月が経ちました。この「うさ議会」が配布される頃は、3月定例会の一般質問の最中です。

12月定例会の時は、新型コロナウイルスもかなり収まっており、久々に議会傍聴をすることができました。3月定例会は感染拡大により、再び傍聴はできないだろうと予想していますが、ぜひともユーチューブをご覧ください。傍聴や視聴が、それぞれの議員の励みになります。

「地方自治は民主主義の小学校である」と言われています。身近な問題を通して、自分の暮らしと政治を結び付けて考えられることを期待します。

(赤野道和)

《3月定例会の予定》

2/15	(開会日) 提案理由の説明
2/16	予算特別委員会①
2/24~3/1	一般質問
3/2	議案質疑
3/3~4	予算特別委員会②③
3/8	常任委員会の審査 (文教福祉・産業建設)
3/9	常任委員会の審査 (総務)
3/15	(閉会日) 委員会の審査報告 質疑、討論、採決

※新型コロナウイルス感染症に伴い
入場制限をする場合があります。



議長
衛藤博幸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年はワクチン接種の推進により感染者数が減少し、少しずつ明るい兆しも見えてきており、長引くコロナ禍において大きな転換期を感じる年でもありました。

市議会におきましても、新型コロナウイルス感染症対策に必要な緊急対策補正予算案を数次にわたり審議、可決し、時機を逸することなく対応を行ってまいりました。

今後とも市政の最終議決機関としての責任を自覚し、コロナ禍で困難に直面する方々に寄り添い、市民福祉の向上に資するという議会本来の役割を果たしていけるよう、議員一同、全力で日々邁進する所存でございます。

本年も皆さまにとって最良の年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



副議長
井本裕明

市民の皆様方におかれましては、昨年のコロナウイルスに翻弄された一年でお迎えのことと存じます。本年は良い年をお迎えのことが存じます。コロナ禍でありますが、未来を担う宇佐っ子が誇れる町を目指して市政発展に頑張ります。ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。



河野健治朗

新年を迎え、皆さまが大切な人と大切な時間を過ごせることを心よりお祈りいたします。



吉田泰秀

住みよいまちづくりを目指して、初心を忘れず今後も精進していきます。



赤野道和

二〇二二年相田みつをカレンダーから「うつくしいものを 美しいと思える あなたの ところが うつくしい」



若山雅敏

「市民の想いを市政につなぐ」を基本に、本年もより良い宇佐市を目指し、皆さまと共に頑張つてまいります。



中本 毅

本年も議案質疑や一般質問を活発に行い、皆様のお声を届けて参ります。変わらぬご教示をお願い申し上げます。



川谷光紹

人生を一〇〇m走に例えたら、いま何mくらいを走っているのでしょうか。いつでもゴールの一手手前。今が大切。



和気伸哉

今年の干支は「壬寅」循環する暦であり水生木の組み合わせ、市と議会も補完し、強化できる関係を目指します。



多田羅純一

新年のお喜びを申し上げます。初心を忘れず、「夢をかたち」にできるよう、全力を尽くしてまいります。



河野睦夫

「初志貫徹」精一杯頑張ります。皆さまにとって素晴らしい一年でありますよう心よりお祈りいたします。



衛藤義弘

新年おめでとうございます。皆様方にとって希望の年となりますように。「和を以て貴しとなす」報恩感謝の年に。



辛島光司

「ふるさとを想うゆえに、我あり。」皆さまの日々の生活と宇佐市の未来のため、誠心を尽くしてまいります。



今石靖代

地球の温暖化を止める取り組みが急務です。誰もが自分らしく生きられる社会を目指し皆さんと一緒に頑張ります。



新開洋一

新年おめでとうございます。本年が皆様方にとりまして、より一層良い年となりますよう、お祈り申し上げます。



林 寛

「謹賀新年」改めて新年のご挨拶を申し上げます。原点に立ち帰り現場第一主義で「皆様の声を市政に」届けます。



大隈尚人

謹賀新年。変異を続けるコロナ等、迅速な情報と的確な対応が不可欠。安心安全な宇佐市を目指し、全力投球。



高橋宜宏

謹賀新年。今年は虎年。「苛政は虎よりも猛し」などと陰口をたたかれないう市民サイドで粉骨砕身頑張ります。



中村明美

自然を含め豊かな郷土の資産を次世代に継承されるような取り組みに残された期間を頑張つていこうと思ひます。



永松 郁

「寅年」は芽を出したものが成長していく年。虎穴に入らずんば、虎子を得ずの精神で積極的に動きます。



浜永義機

コロナで終わった一年。今年は飲み薬も出来るので前途洋々。私も道近しといえども行かずば至らず気持ちで頑張ります。